

上桂 伝統文化の集い

実行委員会委員長 中村秀男

上桂御霊神社の秋季祭礼の神幸祭では、午前には7基の子供神輿巡行、午後には大神輿巡行を行っている。
大神輿は文政9年(1826)頃に宗像社から譲渡され村中を練り歩いていた。明治14年(1881)に化風社が発足し、大神輿巡行を含め祭礼全般を担当していたが昭和33年に解散。伝統を守るために平成17年に化風社を再発足し、現在大神輿巡行を担当している。

また、上桂御霊太鼓保存会は昭和60年に古くから伝わる大太鼓を基に、伝統と文化を守り次代に引継いでいくことを目的に発足し、現在60名程で活動している。

大神輿巡行前には御霊太鼓奉納・勇壮な鑼鳴らして神幸祭の始まりを告げ、御霊太鼓を筆頭に地域の役員の皆さんの袴でのお供・子供の先引き・担ぎ手による大神輿・御霊太鼓と隊列総勢250名位で上桂地域を巡行している。当日はこれらを上桂の伝統文化として下記プログラムで実演・説明・映像を交えて紹介する。

【プログラム】

1. 神輿轆(ながえ)の鑼(かん)鳴らしの実演
2. 子供神輿の巡行実演
3. 上桂御霊神社・化風社の沿革と祭礼の紹介
4. 上桂御霊太鼓保存会の紹介
5. 上桂御霊太鼓保存会による太鼓演奏

【展示】

大神輿をウエスティ玄関前に展示

上桂御霊神社



往古当地に住み開拓した人々が太田神(田の神)を祀って五穀の豊饒を祈ったのが起源である。平安時代に御霊信仰が起り、室町時代には、疫病除けの神徳の祭神を勧請するに至って、当社も伊予親王(桓武天皇の第三皇子)を合祀し、社名を御霊神社と称するに至った。

現在は上桂の各地域にあった北宮神社なども境内に祀っている。

古来、上桂の鎮守神として病氣平癒・商売繁盛・災害無事・学問成就・交通無事など御利益があり地域住民の崇敬篤い。

三大祭として三月祈年祭、十月秋季祭礼(出御祭・神幸祭)、十二月新嘗祭を催行している。

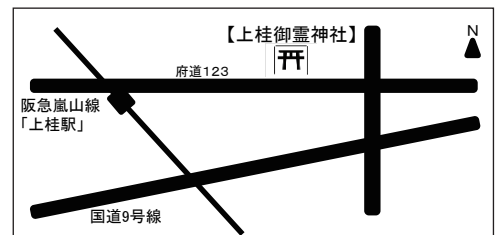


【上桂御霊神社 秋季祭礼】

今年度は下記日程にて催行致しますので是非巡行参加やお参りを
お願いします。

10月15日(土) 子供フェスタ 神社境内 午後2時～4時
パフォーマンス実演(当日のお楽しみ)
上桂御霊太鼓奉納

10月16日(日) 子供神輿巡行 午前9時神社出発
大神輿巡行 午後1時神社出発



〈京都市西京区上桂西居町48〉

阪急嵐山線「上桂駅」から
東へ徒歩5分

京都市バス69系統「上桂西居町」
バス停前

駐車場が有りませので
公共交通機関をご利用下さい



まち全体を
学びと育ちの場に